

2021 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

ふりがな	りあるぼいすじっこういいんかい	
団体名	リアルボイス実行委員会	
代表者名	増田 美佳	
連絡先	住所	岡山県岡山市南区郡 902-85
	TEL	090-1359-2007
	E-mail	realvoice.e.c@gmail.com
	URL	
設立年（西暦）	2019 年	
助成活動名	リアルボイス主催「第 2 回リアルボイス TODOKERU 発表会 & SHIRITAI 勉強会 in 岡山」	
助成額	350000 円	
活動内容	目的	障がい者等社会的弱者に対しては福祉というアプローチが多くなされて日々関心も高くなってきています。しかし考え方を変えると社会的弱者や障がい者に対してのアプローチのみでそれは決してマジョリティーの変化、視点の変化を促すものにはなっていないと感じます。その象徴的存在が”障がい者を兄弟姉妹に持つ「きょうだい」”といえると思います。この「きょうだい」の声を広く伝えるきっかけを創出することにより少しずつですが繋がっていくことができる。まずはその周辺を知ること社会への変化を促す事を「第 2 回リアルボイス TODOKERU 発表会 & SHIRITAI 勉強会 in 岡山」は目的としています。
	内容	<p>「第 2 回 リアルボイス TODOKERU 発表会 & SHIRITAI 勉強会 in 岡山」</p> <p>■開催日時 2021 年 10 月 16 日（土）2021 年 10 月 17 日（日）</p> <p>●A.リアルボイス TODOKERU 発表会</p> <p>●B.SHIRITAI 勉強会①④(2 講座同時開催) SHIRITAI 勉強会②③(2 講座同時開催)</p> <p>●C.福祉無料相談コンシェルジュ 岡山県・各市福祉課</p> <p>■開催場所 岡山市勤労者福祉センター(岡山県岡山市北区春日町 5-6)</p> <p>■企画内容</p> <p>A 第 2 回リアルボイス TODOKERU 発表会 「きょうだい」たちが日頃感じている言いたいことや社会への事、「きょうだい」に対しての想いを岡山の演劇人が発表者の方に成り代わり演劇で多くの方に伝える</p> <p>B SHIRITAI 勉強会 社会とのコミュニケーションで悩んでいる方達に向けての勉強会。</p> <p>① 体験型 WS「ユニーク・インプロ・ワークショップ」小松原修氏</p> <p>② 対話型「きょうだいの事、話そう！座談会 2021」江西あきよし氏</p> <p>③ 講演型「家族という事！家族としての繋がりや街の共生について今日、思う事」稲葉伸次氏</p> <p>④岡山県障害福祉課 講義「あいサポート運動について」佐藤伸隆氏</p> <p>C.出張合同福祉無料相談コンシェルジュ 会期中、福祉の総合相談ブースを開設。 参加行政：岡山県・岡山市・倉敷市・玉野市・総社市・備前市・瀬戸内市</p>
	成果	近年、やっと議論されるようになってきた障がい者を兄弟姉妹に持つ「きょうだい」のリアルな声を取材した台本による演劇や視点を変える為の勉強会を通

し来場者への今までのなかった障害を取り囲む周辺環境の意識の問題やヤングケアラーについても新たな視点、価値観の啓発や認知が促されたと感じています。そして新たな課題の創出契機となりました。又、今回特に特記すべき事として学生ボランティアの参加です。今までの啓発イベントや事業については現在の大人へ向けたものであり、これからの社会を担うべき学生に向けて（教育としての）のイベントアプローチも必須であると感じるきっかけとなりました。今後の事業企画に取り込むべき重要な要素であるといえます。

今後の課題と対応策

現在の「きょうだい」の現状を様々な手法、表現方法により世界に伝えることは今まで通り欠かせない要素であり片翼であるが、その考えと対をなす片翼が「教育」であると痛感しました。特に重要視すべき課題はこれから社会を形成するこども達（学生）に現在障がい者当事者やそれを取り囲む周辺環境のリアルな声を見て体験していただき、20年、30年それ以上の先の社会の為の種まきを行うことであると考えています。そのために少しずつありますが次回事業に福祉での学生コンペ（アイデア賞の設立）を通して、施設や行政や障がい者、その家族の本当を体験していただくシステムを考え提案していきたいと考えています。



発表会風景



写真の提出



発表会風景



勉強会風景

